

センター月だより

1月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	10	7	23	40
声かけ件数	472	42	88	602
指導参加者数	72	28	44	144

(指導日誌より)

多治見地区

- ・下校時間に校門にて声かけを行ったところ、皆、元気に挨拶に応じてくれる
- ・駅前のBellmartでのたむろが少なくなったみたい。サークルKの裏に買い食いした串がよく捨てられている(各高校の先生方に伝えていきたい)
- ・啓発活動(挨拶)を5人で2つの門に分かれて行った。挨拶が小さいのは、寒さもあったが、指導員との面識がなくてそうだったと思う。学校での挨拶活動を継続的に行うことが有効であると思う
- ・昨年の台風にて通学路の破損が大であったが、PTAの方の協力に依り通学に支障がなくなった
- ・堤防に放置自転車あり。安全な場所へ移動
- ・電柱に落書き(学校長への誹謗)
- ・5時過ぎ帰宅する子ども達と元気に挨拶できた。太平児童館では、保護者と遊ぶ子ども達の姿が見られた
- ・下校時の高校生に声をかけ、帰りの挨拶が思いがけず大勢にできてうれしかった
- ・中学生と路上で会い、元気な声で挨拶が返ってきた

瑞浪地区

- ・バイパス高架にて、放置自転車が2台有り、瑞浪交番へ連絡。高架下の壁面のペンキでの落書きが以前より多く見られた
- ・松の池周辺かなり荒れている、草刈必要と思う
- ・駅前、駅裏ゴミ特に多い。駐輪場だんだん放置自転車が増えている。明德橋たもとに自転車があったので、コンビニ駐車場へ入れておいた
- ・駅裏ベンチ周辺、地下道階段でのタバコの吸い殻が多い
- ・外気温が低いためか一人も出会う人なし
- ・ウォーキング中の女性、犬の散歩の女性以外通行者なし

土岐地区

- ・1列に並んで歩けるが、前後で大きな声で話しながら歩いている
- ・通学帰りの高校生は土岐駅で下車後、すぐ帰る子ばかりだった
- ・出歩いている青少年はほとんどいなかった
- ・土岐駅も落ち着いており、きれいであった
- ・街頭啓発でティッシュの配布

お陰さま

「お元気ですか?」と尋ねたときなど、「お陰さまで」と返ってくる場合があります。この「お陰さま」という言葉は、とても響きの良い言葉です。心に響きがいいのです。こちらが特に何をした、ということがなくても、ほっと、心が和むことばです。

生きているのも、仕事をしているのも、常に感謝の気持ちを持っているとき、きっと自然に「お陰さま」と出てくるのでしょう。